

OS交配

露地



夏秋

露地抑制適応

4~8月播き

キュウリ

# おおのぞみ

- 褐斑病にも強いウドンコ病 耐病性品種 ●
- ベト病にも強い複合耐病性品種



株式会社 埼玉原種育成会



# おおのぞみ

## 特 性

- ☆ウドンコ病・べト病・褐斑病の耐病性が高い。
- ☆果実の肥大が良く、初期から多収で果形の乱れも少ない。
- ☆果長の安定度が高く、短くなりにくい。
- ☆果皮が柔らかく、果肉は締まっっていて食味が良い。

適作型 と 雌花率	4~5月播き 雨よけ・夏秋 防虫ネットハウス 50%前後	主茎	太さ中位で中節間。
	6~8月播き 露地抑制 40%前後 孫以降は60%前後 1節1~2果成り	葉	濃緑色で厚葉 大きさは中位。
草勢	草姿は立性で受光態勢が良い。 草勢は中位だが、枝の発生が良く安定している。	収量	クズ果が少なく、果実肥大に優れているので初期から収量上がるタイプ。
果実	100g果で21cm前後 首から尻部まで良く整った円筒形で果揃い良く、果形の乱れも少なく安定する。果実肥大の少ない時は、やや長めになる。	耐病性	ウドンコ病に耐性で、べト病、褐斑病にも罹病しにくい。

## 栽培のポイント

※草勢を維持するため、2~3本仕立ての場合、孫枝以降の半放任による整枝で末期まで良果が穫れ続ける。

## 定植と植付本数

害虫防除のために、植付前にポットへの薬剤処理をしておく。葉面散布や発根促進剤等でドブ漬けをし、地温16℃以上保つ条件で定植すると良い。

植付本数は、株間75cm~100cmで約750本/10aを目安にする。

## 施肥

初期の低地温での肥効をよくするために、早くから堆肥や有機質肥料を中心に広く深くにまで施しておくが良い。通常約N20kg, P25kg, K20kg位だが前作、肥料の種類、地力により増減する。追肥は梅雨時期にかかり、根は浅根となり易いので少量ずつ多回数が良い。

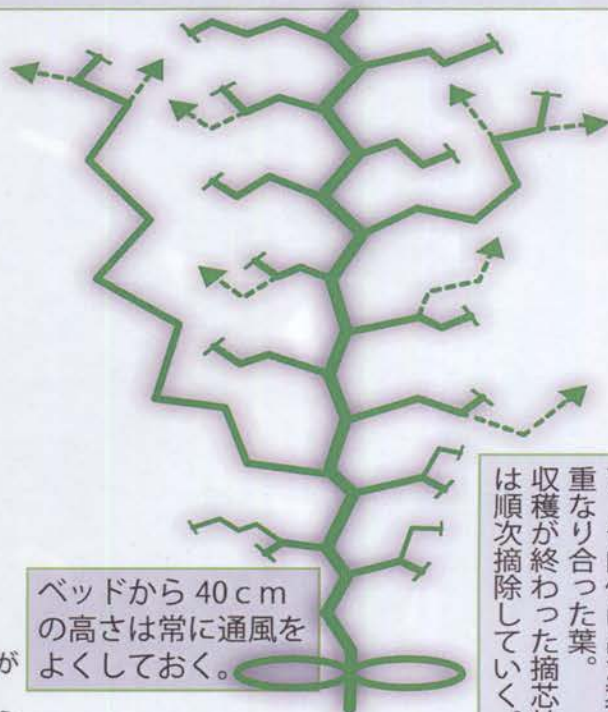
## 灌水

定植後の根付き水や薄めの液肥かん水等でしっかりと樹作り。5月や梅雨明け後等は、相当乾くため灌水チューブ等を用意し、強光線=高温=適湿となるようにかん水すると効果が高い。

## 摘葉及び整枝法

地上40cm以下の脇芽・雌花を早めに摘除する。2~3本仕立ての場合は、孫枝以降の半放任による整枝で末期まで良果が穫れ続ける。遅まき程、収穫が始まったら機械的な摘芯はせず、草勢を判断して行う。

アーチ外側に3~4本生長点を上・中・下段に確保し長く伸びたら新しい枝に更新する。



ベッドから40cmの高さは常に通風をよくしておく。

アーチ内側に出た葉。重なり合った葉。収穫が終わった摘芯枝は順次摘除していく。

「おおのぞみ」の最適台木品種

○ブルームレス台木 / OS交配ゆうゆう一輝タイプ・オールスター一輝・FGY・RK-3  
○ブルーム台木 / OS交配ウルトラ南瓜・ウルトラ9B南瓜



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元  
株式会社 **埼玉原種育成会**  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2616 番地  
TEL: 0480-85-0854 (代) FAX: 0480-85-0407



OS交配種子 発売元  
株式会社 **シード**  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2616 番地  
TEL: 0480-85-7211 (代) FAX: 0480-85-0407